

脳神経内科

担当医より

他の病院と連携して検査を行う例や、高度な判断を求めて大学病院へご紹介する例もあります。

パーキンソン病

神経難病の代表的疾患で、手足の震え・歩行障害・動作緩慢・転倒傾向などが緩徐に進行します。

治療法は大きく進歩しており、適切な治療とリハビリテーションの介入で機能予後・生命予後とも改善が期待できます。また特定疾患の申請により治費用の負担も軽減できます。類似の疾患があるため疑ったらまずご相談ください。



その他の神経難病

脊髄小脳変性症・重症筋無力症・多系統萎縮症などは大学病院と連携して診断を行います。難病申請や介護認定など福祉サポートを行いつつ自宅療養の相談にのります。訪問看護の指示やリハビリの助言も行います。

頭痛

急性の激しい頭痛は頭蓋内出血や髄膜炎を鑑別し、治療を行います。

慢性頭痛・繰り返す頭痛には片頭痛や群発頭痛・緊張型頭痛などがあり治療法は様々です。丁寧な生活指導や内服指導を行います。最近片頭痛に対して新たな薬剤が開発され、発作回数が激減する例も増えています。なお鎮痛剤濫用を予防する指導にも力をいれています。



てんかん

中高年にも多い『てんかん』の発症。

複雑部分発作は発作中も普通に行動しているように見えますが、発作間の記憶が抜け落ちるため認知症との鑑別を要します。一方、痙攣発作はてんかん以外の疾患（脳腫瘍・心因性発作・一過性の低血圧）でも起こる事があります。

当院では脳波や頭部MRIで原因検索し治療を行います。

< お願い >

御紹介に当たっては、円滑な診療のためにも
診療情報提供書をお願いいたします。



社会医療法人 潤心会

熊本セントラル病院

〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水2921



096-340-5001 (代表)
096-285-5453 (地域連携部)



aaa@kchosp.or.jp

